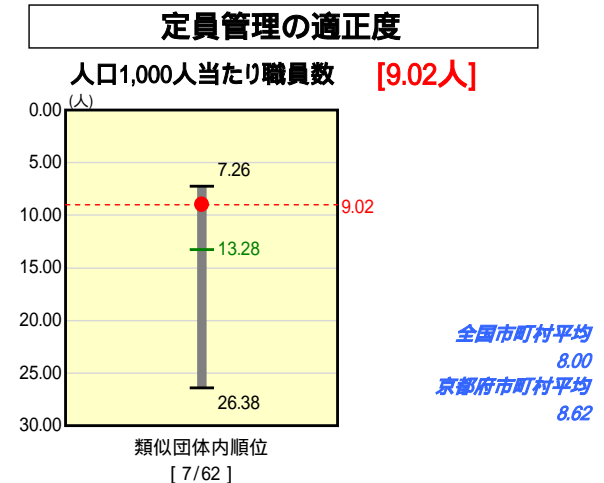
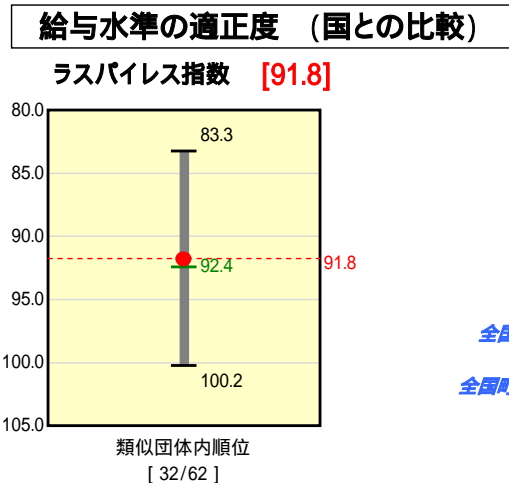
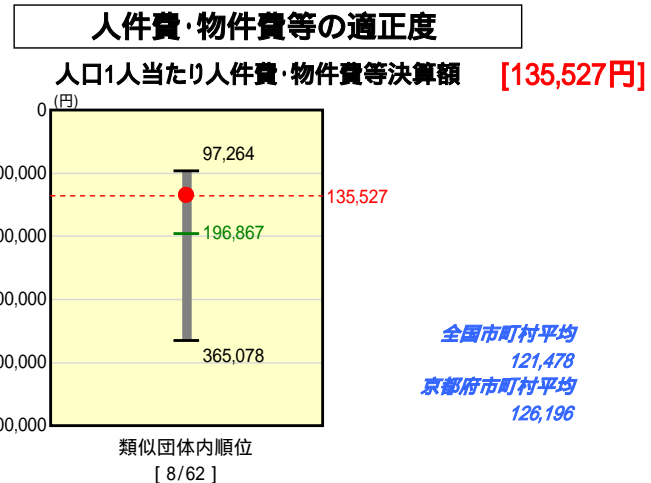
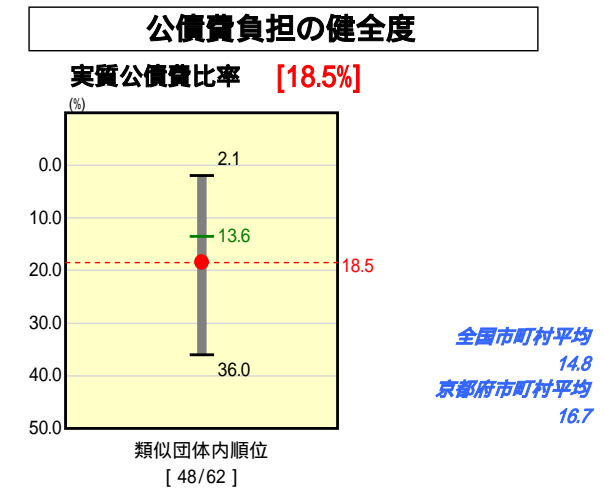
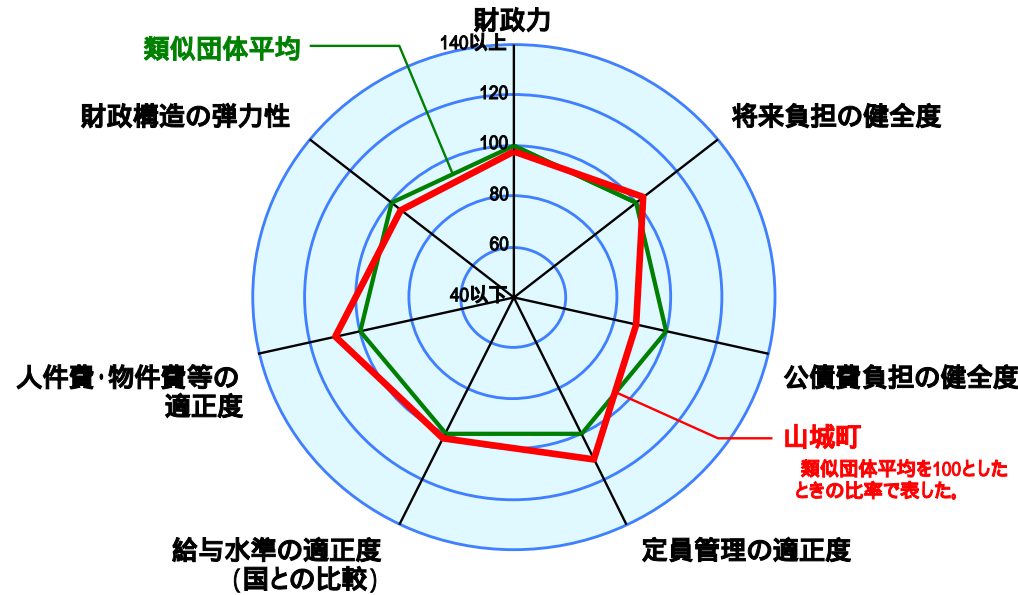
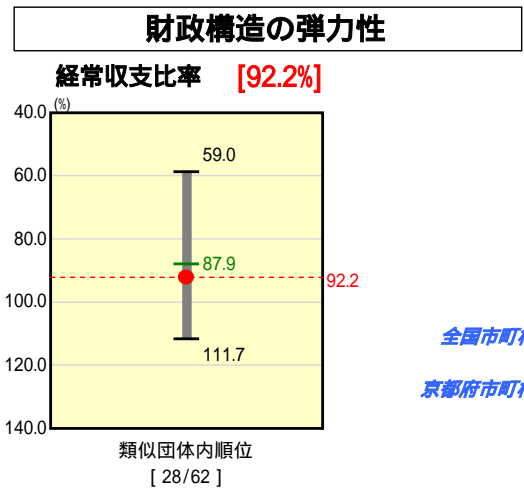
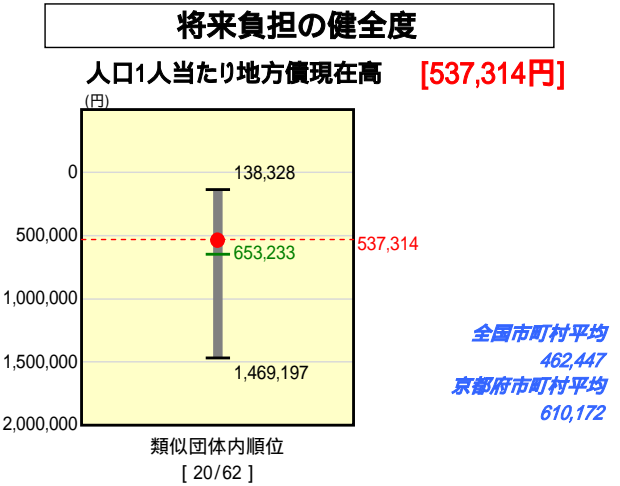
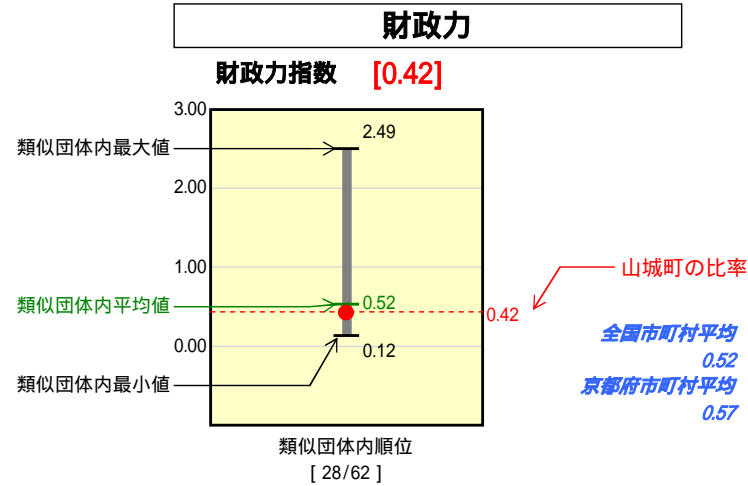


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 京都府 山城町

人口	8,983 人(H18.3.31現在)
面積	24.53 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,483,569 千円
歳出総額	3,412,179 千円
実質収支	36,738 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力(財政力指数)】**  
人口の減少等による税収の減少により、財政力指数は類似団体の平均より低い水準となっている。

**【財政構造の弾力性(経常収支比率)】**  
近年、人件費の抑制や公債費の繰上償還の実施により経常経費の抑制に努めてきたが、税収の減少と近年の地方交付税の大幅な削減等に追いつかず、経常収支比率は類似団体の平均より高い状況となっている。近隣2町との合併により、スケールメリットを最大限発揮することで、財政構造の弾力性を高めるよう取り組む。

**【人件費・物件費等の適正度(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)】**  
近年の人件費や光熱水費等の管理経費の抑制・削減の結果、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は類似団体の平均より低い水準となっている。

**【将来負担の健全度(人口1人当たり地方債現在高)】**  
近年の公債費の繰上償還の実施により、人口1人当たり地方債現在高は類似団体の平均より低い水準となっている。

**【公債費負担の健全度(実質公債費比率)】**  
実質公債費比率は過去3カ年平均で18.5%と類似団体の平均より高い水準にあり、地方債の発行に許可がある団体となっている。現在も公債費負担が大きい状況には変わりがなく、過去より公債費負担の軽減を図るべく公債費の繰上償還を実施してきたことにより、直近の2年は実質公債費比率を18%以下の水準とすることができた。

**【給与水準の適正度(ラスパイレス指数)】**  
特殊勤務手当の一部廃止など、諸手当の全体的な見直しによる給与削減に取り組んできたため、類似団体の平均を下回る数値となっている。今後もより一層の縮減に努める。

**【定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数)】**  
ここ数年、職員の新規採用を抑制しており、類似団体の平均を大きく下回っている。今後も欠員不補充を原則として、引き続き適切な定員管理に努める。